

ID-POSデータ活用講座 実践編

ID-POSデータ活用の実践的スキルを磨く

日程： ~~夏期講座：2019年6月28日(金)・7月5日(金) 全2回~~

冬季講座：2020年1月24日(金)・1月31日(金) 全2回

時間： 各回とも10:00～17:00

会場：公益財団法人 流通経済研究所 セミナー・ルーム

東京都千代田区九段南 4-8-2 1山脇ビル10階（最寄駅：市ヶ谷駅）

本講座の趣旨

本講座は、ID-POSデータ活用の基本を理解している方に、集計・分析に関する実践的なスキルを身につけていただくための講座です

基礎レベルからの脱却を図りたい方、幅広い領域でのID-POSデータ活用に必要なスキルを身につけたい方の受講を歓迎いたします

本講座の概要

- POSデータの取扱い・データ分析に関する基礎を習得します
- 目的と事例から手法・定石・注意点を実践的に学びます
- 対話形式の「考える」講義により理解促進と定着をはかります

本講座の受講による到達目標

講義と演習を通じてID-POSデータ活用のための実践的スキルの習得を目指します

- カテゴリーや自社商品の課題に対して適切な分析手法を選択できる
- 課題に応じて適切な分析条件（範囲・期間・絞り込み等）を設定できる
- 集計結果に応じて適切な深掘り分析を選択・実施できる
- 集計結果のポイントを正しく・わかりやすく、グラフや表で表現できる
- 集計結果を正しく読み込み、評価し、解釈し、打ち手に落とし込むことができる

受講対象者

- ・ メーカー・卸売業の営業、営業企画、営業支援を担当される方、および
- ・ 小売業の商品部、販売促進部、マーケティング担当者の方 で、
ID-POSデータの集計・分析に関する実践的なスキルを習得したい方

※本講座は「ID-POSデータ活用講座Ⅱ応用編」受講相当の理解のある方を対象としております。
(ID-POSデータ各種指標に関する基礎的な知識、会員属性別集計、バスケット分析、期間併買分析、トライアル・リピート分析などについての基本的な知識をお持ちの方)

■ 基礎編、応用編との違い

流通経済研究所ではID-POSデータ活用講座として、Ⅰ基礎編、Ⅱ応用編、Ⅲ実践編の3つのレベルでカリキュラムをご提供しています。

Ⅰ基礎編では「ID-POSデータについての基礎的な知識の習得」を、Ⅱ応用編では「多様な活用事例からID-POSデータ活用の幅を広げること」を主眼としております。

実践編である本講座はID-POSデータ活用の基礎を理解している中・上級者の方を対象に、ID-POSデータの集計・分析とその結果を用いた提案作成に関する実践的なスキルを身につけていただくための講座です。

■ 発展的なトピックと演習を中心としたカリキュラム

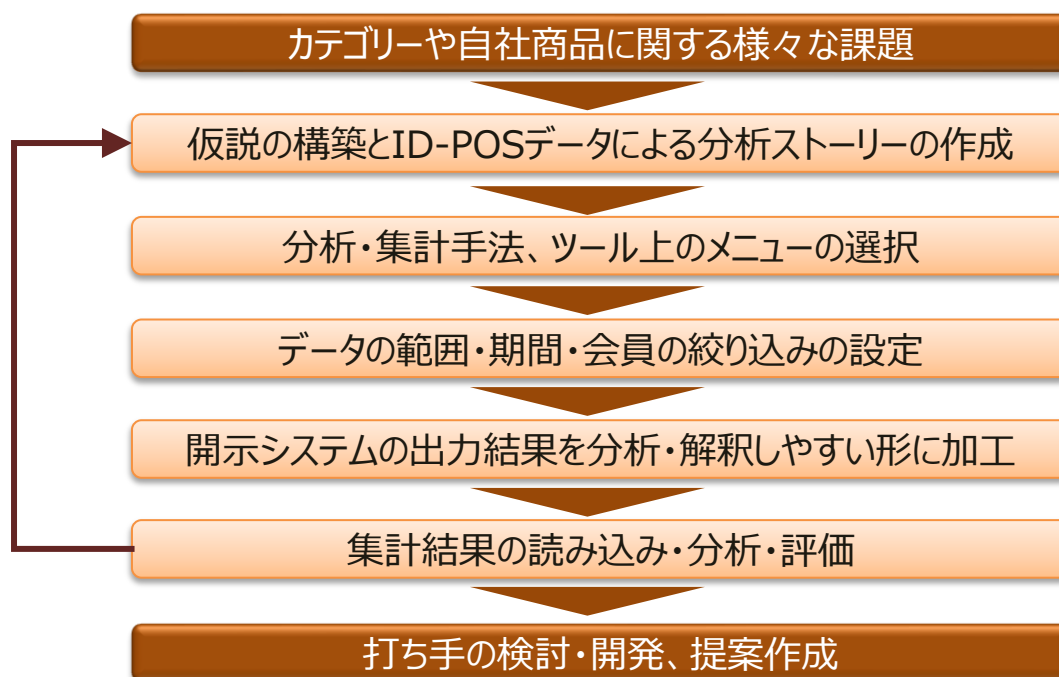
本講座では講義については、Ⅰ基礎編、Ⅱ応用編で触れていない、正しいデータ活用のための統計的な知識、およびID-POSデータ活用の発展的なトピックについて解説します。

演習では下図のようなID-POSデータ活用の各ステップで適切な選択ができ、またID-POSデータの集計・加工における留意点とスキルを体得します。また、集計結果の分析・解釈・打ち手の考案での視点を広げるためにインタラクティブな演習を基本とし、総合的なスキルアップを目指します。

■ 流通経済研究所の長年にわたるID-POSデータ活用研究

流通経済研究所では、モニター会員組織による消費者購買パネルデータの時代から30余年にわたり、**小売・卸・メーカーとともに**ID-POSデータの活用に関する研究を行ってまいりました。本講座の内容は、このような長年の経験と研究成果をベースに作成しています。

ID-POSデータを活用した課題解決ステップ



演習で用いるパソコンとExcelのスキルについて

- データ分析演習のために、Microsoft Excel が利用可能なノートパソコンをお持ち下さい。
- データ分析演習にはMicrosoft Excel 2010で作成したデータを用います。
- 演習ではMicrosoft Excelの以下のような機能を使用しますので、事前に習得したうえで受講されるようお願いいたします。
ピボット・テーブル、Lookup関数、if関数、各種グラフ作成、条件付き書式

プログラム

1日目

時間	内容
10:00～	オリエンテーション
10:10～	講義 ■ ID-POSデータ 分析・集計のポイント ・統計・データ集計の要点（データ取扱いの留意点） ・ID-POS指標の理解と取り扱いの注意点（見るべき指標はどれか？） ・購買条件による集計対象会員の絞り込み
12:00～	昼食休憩
13:00～ 17:00	演習1：ID-POS指標からのカテゴリー課題発見と深堀り 演習2：会員属性によるID-POS指標の深堀り ・年代別集計の読み取りとターゲットの選定 ・足りない指標の補完、年代区分の統合 演習3：会員属性を使った集計と読み取り ・年代別購買の特徴をどのように明らかにするか 演習4：カテゴリー併買分析の算出と読み取り ・リフト値の理解、バスケット分析の読み取り、注意点の理解 演習5：購買履歴データからのサブカテゴリー別バラエティ指向の算出 ・ID-POSデータからサブカテゴリーの品揃えの幅についての知見を得る

2日目

時間	内容
10:00～	講義 ■ トライアル・リピート分析の考え方と応用 ■ ブランド・スイッチに関する分析と解釈 ■ 分析・提案のストーリーを考える ■ ID-POSデータの棚割（グルーピング・ゾーニング）への活用
12:00～	昼食休憩
13:00～ 17:00	演習6：カテゴリー内での自社商品の位置付けを明らかにする ・購買経験率と平均購買回数による位置付けと施策 演習7：新製品のトラッキング ・トライアル・リピート分析、ブランド・スイッチ分析の条件設定、結果の見方と注意点 演習8：ID-POSデータを使った販促評価 ・販促前後のID-POS指標の変化から、会員行動の変化を読み取る 演習9：商品改廃におけるID-POSデータの活用 ・商品改廃へのリピート率の考慮 演習10：ID-POSデータによるカテゴリー購買間隔の算出 ・平均購買回数と購買間隔の違い ・購買間隔の算出と販促頻度への活用

お申し込み方法と注意点

■開催概要

- 日時：本紙おもて面記載の通り 全2回
各回10:00～17:00
- 会場：流通経済研究所 セミナールーム
東京都千代田区九段南4-8-21 山脇ビル10階
- 参加費：1名につき 80,000円（消費税別）
- 定員：20名（10名に満たない場合には中止する場合があります）

■参加申込方法

- ①申込書に必要な事項をご記入のうえFAXをお送りいただくか、Webページからお申込みください。
- ②お申込受付後、ご請求書を郵送させていただきます。
- ③参加費は、請求書に記載されております、「お支払い期限」までに指定の銀行口座へお振り込みください。
- ④受講票は、開催1週間前から順次発送を開始いたします。
- ⑤開催間際のお申込みは、ご参加いただけない場合もございます。あらかじめお電話でご確認ください。

■ご注意

- ・お申込後、当日ご欠席の場合も参加費を申し受けます。ご都合がつかない場合は、代理の方がご出席ください。
- ・業種によっては、ご参加できない場合があります。
- ・講義の録音・撮影は、ご遠慮ください。
- ・資料はご参加者のみにお渡しします。
- ・資料のデータでのお渡しはいたしません。
- ・**演習用のノートパソコンが用意できない場合は、参加申込書の連絡通信欄にその旨をご記入ください**

■免責事項

天災地変、交通事情等、弊所が管理できない事由により、研修内容の一部変更及び中止のために生じた損害等には責任を負いかねますことをご了承ください。

■お問い合わせ先

(公財)流通経済研究所 セミナー事務局
担当：中田、祝 TEL：03-5213-4532

ID-POSデータ活用講座（実践編） 参加申込書

講座Webページからもお申込みいただけます：

http://www.dei.or.jp/seminar/seminar_idjissen.php



講座WebページQRコード

ご参加の日程に✓を入れてください 夏期講座：2019年6月28日・7月5日 冬季講座：2020年1月24日・31日

申込日： 年 月 日	FAX：03-5276-5457		(公財)流通経済研究所 店頭研究開発室 行
貴社名			
所在地	〒		
参加者ご氏名1		ご所属・お役職	
E-mail		お電話番号	
参加者ご氏名2		ご所属・お役職	
E-mail		お電話番号	
連絡通信欄			
<請求書送付先> ※ご請求書の送付先が上記と異なる場合のみ、下欄にご記入下さい。 ※複数でのお申込の場合、特にお申し出のない場合は、参加者1の方にご請求書をお送りします。			
ご氏名		ご所属・お役職	
所在地	〒		
E-mail		お電話番号	

ご記入いただいた個人を特定できる情報については、以下の通り利用させていただきます。

1)お申し込みいただいたセミナー・報告書等の事務処理に必要なご連絡、ご請求 2) (公財)流通経済研究所からの各種情報の案内
※なお、2)に関してご登録内容の変更や配信停止は、お電話(03-5213-4531)又は専用ページからお願いいたします。 <http://www.dei.or.jp/dm/index.php>
(配信停止の手続きには多少お時間がかかる場合がございます。行き違いでメールが届きました場合は、ご容赦をお願いいたします)